

01/WFD・01/W スタンドード MIDIファイル対応



## 01/WFD・01/W 訂正と追加

### ① ivページ「01/Wの主な特徴」の最後に追加

9. 他機種と互換性のあるスタンダードMIDIファイル(01/WFDのみ)  
メーカーや機種にとらわれずにシーケンス・データをフロッピー・ディスクでやりとりできるスタンダードMIDIファイルに対応しています。

### ② 11ページ「COMPAREキーについて」の最後に追加

また、PROGRAMモードやCOMBINATIONモードでCOMPAREキーを押すと、EDIT PROGRAMモードやEDIT COMBINATIONモードから他のモードに移ったときの設定値が呼び出されます(エディット・リコール機能)。

### ③ 20ページ「PROGRAMモードでのエディット」の前に追加

- PROGRAMモードの時にCOMPAREキーを押すと『エディット・リコール機能』によって、EDIT PROGRAMモードから他のモードに移ったときの設定値が呼び出されます。
- 例) EDIT PROGRAMモードでピアノの音色を作った後PROGRAMモードへ移り、他のプログラム・ナンバーを選んでも、COMPAREキーを押すとプログラム・ナンバーはそのまま音色はピアノになります。

### ④ 84ページ「COMBINATIONモードでのエディット」の前に追加

- COMBINATIONモードの時にCOMPAREキーを押すと『エディット・リコール機能』によって、EDIT COMBINATIONモードから他のモードに移ったときの設定値が呼び出されます。
- 例) EDIT COMBINATIONモードでオーケストラのコンビネーションを作った後 COMBINATIONモードへ移り、他のコンビネーション・ナンバーを選んでも、COMPAREキーを押すとコンビネーション・ナンバーはそのままオーケストラのコンビネーションになります。

### ⑤ 106ページ「P0-2 Track1~8, Mute/Rec/Play」の最後に追加

- ☆ プレイ中にここで選んだトラック下の **A** ~ **H** キーを押しながら0~3のキーを押すと、次のようになります。
- 0: そのトラックを“PLAY”にする。
  - 1: そのトラックを“MUTE”にする。
  - 2: すべてのトラックを“PLAY”にする。
  - 3: そのトラック以外のトラックをすべて“MUTE”にする(Solo機能)。

### ⑥ 124ページ「Program Bnak」のバリューを訂正

誤 A, B, 2~127 → 正 A, B, 2~127, GM, GMD, ---

⑦ 125ページ右段、「ピッチベント、アフター・タッチ」のディスプレイ図の下に追加

※ バンクの“GM”、“GMD (GMDrum)”で外部の音源等をコントロールします。  
これを受信したコルグのGM音源等では、それぞれGM用音色やGM用ドラムセットを選びます。

MIDIメッセージ ..... GM : Bn, 00, 38, 20, 00  
GMD : Bn, 00, 3E, 20, 00

また“——”に設定すると、バンクチェンジはMIDI OUTしません。

⑧ 126ページ右段、「パターンが配置された小節は……」のディスプレイ図の前に追加

・ 長さが2小節以上のパターンが配置されているとき、その先頭の小節に“(H)”が表示されます。

⑨ 126ページ右段、以下の表を変更

誤

イベント・ポイントでの値	01/Wでのパン	イベント・ポイントでの値	01/Wでのパン
0~7	A	72~84	4:6
8~20	9:1	85~97	3:7
21~33	8:2	98~110	2:8
34~46	7:3	111~122	1:9
47~58	6:4	123~127	B
59~71	5:5		

正

イベント・ポイントでの値	01/Wでのパン	イベント・ポイントでの値	01/Wでのパン
0~11	A	70~81	4:6
12~23	9:1	82~93	3:7
24~34	8:2	94~104	2:8
35~46	7:3	105~116	1:9
47~58	6:4	117~127	B
59~69	5:5		

⑩ 156ページ「P0 GLOBAL 1」の0-1の「ファンクション」と「設定するパラメータ」を以下のように変更

0-1 LCD Contrast, Effect ON/OFF  
LCD表示器のコントラスト調整、エフェクト・スイッチのON/OFF

⑪ 157ページ「Page-0 GLOBAL-1」のディスプレイを以下のように変更

GLOBAL P0:GLOBAL		▶LCD Contrast	
LCD Contrast	=8	Effect	:ON
Master Tune	=+00	Key Transpose	=+00
MIDI Channel	:01	Clock Source	:INT
Local Control	:ON	Note Receive	:ALL
MIDI Filter	PROG:ENA	AFT:ENA	
	CTRL:ENA	EXCL:DIS	
A	B	C	D
E	F	G	H

- ⑫ 157ページ「P0-1 LCD Contrast」を以下のように変更

[A]	LCD Contrast	1~8	LCD表示のコントラスト調整
[E]	Effect SW	OFF,ON	エフェクトのON/OFFスイッチ

▼ LCD Contrast(LCDコントラスト)ではディスプレイ表示の濃さの調整を行います。1にすると最も薄く、8にすると最も濃くなります。

▼ Effect SW(エフェクト・スイッチ)がONのとき各エフェクトは動作します。

- ⑬ 159ページ「P0-5 MIDI Filtering」の上表[D]のDIS, ENA, PRGに“NUM”を追加

- ⑭ 159ページ左欄、下から4行目の次に追加

・ MIDIのバンク・チェンジでバンクを変えたくないときは“NUM”にしてください。

- ⑮ 175ページ、P7-1のディスプレイ図、01/W(FDなし)のみ変更

GLOBAL P7:PRELOAD				▶RDM			
▶Load Combi/Prog				Load Demo Sequence			
Load 1 Combi							
Load 1 Prog							
Load 1 Drum Kit							
Bank-A+B → Bank-A+B				[LOAD]			
A	B	C	D	E	F	G	H

- ⑯ 175ページ、P7-2のディスプレイ図、01/W(FDなし)のみ変更

GLOBAL P7:PRELOAD				▶A00:DawnOfTime			
▶Load Combi/Prog				Load Demo Sequence			
▶Load 1 Combi							
Load 1 Prog							
Load 1 Drum Kit							
A00 → A00				[LOAD]			
A	B	C	D	E	F	G	H

- ⑰ 176ページ、P7-3のディスプレイ図、01/W(FDなし)のみ変更

GLOBAL P7:PRELOAD				▶A00:Ephemerals			
▶Load Combi/Prog				Load Demo Sequence			
▶Load 1 Combi							
▶Load 1 Prog							
Load 1 Drum Kit							
A00 → A00				[LOAD]			
A	B	C	D	E	F	G	H

- ⑱ 176ページ、P7-4のディスプレイ図、01/W(FDなし)のみ変更

GLOBAL P7:PRELOAD				▶Source			
Load	Combi/Prog	Load Demo Sequence					
Load 1	Combi						
Load 1	Prog						
▶Load 1	Drum Kit						
[E]Kit1		→ A:Kit1		[LOAD]			
A	B	C	D	E	F	G	H

- ⑲ 176ページの一番最後に追加  
P7-5 Load Demo Sequence (ロード・デモ・シーケンス) (01/Wのみ)

GLOBAL P7:PRELOAD							
Load	Combi/Prog	▶Load Demo Sequence					
Load 1	Combi						
Load 1	Prog						
Load 1	Drum Kit						
[LOAD]							
A	B	C	D	E	F	G	H

[G]		[LOAD]	ロードの実行
-----	--	--------	--------

- ▼ 工場出荷時のデモ・シーケンス・データをインターナル・メモリーにロードします。
- ※ デモ演奏で使われるプログラムも工場出荷時のものですので、同時にP7-1でロードしてください。
- [LOAD] ([G]) を押すと表示が変わり、YES ([E]) を押すとロードが行われ、NO ([G]) を押すと中止されます。

# 8.DISKモード (01/WFDのみ)

このモードでは、ディスクのデータのロード(インターナル・メモリーへのコピー)や、ディスクへのセーブ(インターナル・メモリーからのコピー)を行います(01/WFDのみ)。

※01/WFDではシーケンス・データ・メモリーの内容は、電源を切ると失われますので、保存したいデータは電源を切る前にディスクにセーブしてください。

●使用可能なディスクは「両面倍密、倍トラック」の「3.5インチ・マイクロフロッピーディスク」です。これらのディスクには「MF2DD」「MFD-2DD」などと記載されています。

※01/WFDで扱うディスクのフォーマットには2種類あります。01/Wシリーズと共通のフォーマットと、スタンダードMIDIファイル対応のフォーマットです。

## DISKモードのファンクション

●テンキー(0~9)及びPAGE+キー、PAGE-キーを使ってページを選びます。

※ページ0~3とページ4では扱うディスクのフォーマットが異なりますのでご注意ください。

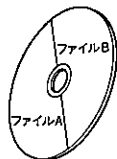
ページ	フォーマット	ファンクション	
P0	01/Wシリーズ・フォーマット	DISK LOAD 1	ディスクのデータをインターナルメモリーにロード(全データのコピーなど)
P1	01/Wシリーズ・フォーマット	DISK LOAD 2	ディスクのデータをインターナルメモリーにロード(1コンビネーションのコピーなど)
P2	01/Wシリーズ・フォーマット	DISK SAVE	インターナルメモリーのデータをディスクにセーブ/ディスクのフォーマット
P3	01/Wシリーズ・フォーマット	MIDI DATA FILE	MIDIバルクデータの転送(ロード、セーブ)
P4	スタンダードMIDIファイル・フォーマット	STANDARD MIDI FILE	スタンダードMIDIファイル・データのロード/セーブ/フォーマット

## ファイルについて

01/WFDのディスクのフォーマットには2種類あります(01/Wシリーズ・フォーマット、スタンダードMIDIファイル・フォーマット)。

・01/Wシリーズ・フォーマット

01/WFDは2つのファイル(ファイルA、ファイルB)がディスク上で使用できます。1つのファイルにはインターナルの全データと、MIDIデータ・ファイラー機能で受信したMIDIデータをそっくり1つずつ記録することができます。



※P0でのロードやP2でのセーブでは2バンク分のプログラムやコンビネーションのデータが書き換えられます。

### 1ファイル

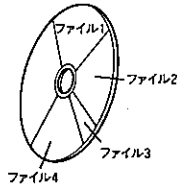
200コンビネーション  
200プログラム  
4ドラムキット  
1グローバル  
シーケンス・データ  
(10ソング、100パターン)  
MIDIデータ(64Kbytes)

② 181ページの次に追加

8  
DISK

8. DISKモード

- ・スタンダードMIDIファイル・フォーマット  
ディスク上で複数のファイルが使用できます。シーケンス・データ専用のファイルで、1つのファイルが1つのソングに対応しています。



1ファイル

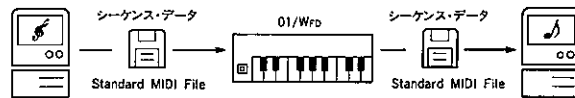
1ソングのシーケンス・データ  
(演奏データのみ)

スタンダードMIDIファイル

メーカーや機種にとらわれずにシーケンス・データをフロッピー・ディスクでやりとりできます。これに対応している他の機種のシーケンス・データのファイルを01/WF0でロードして演奏させたり、または、01/WF0で作成したシーケンス・データをスタンダードMIDIファイルとしてディスクにセーブし、それをこれに対応している他の機種でロード、演奏させることができます。01/WF0のシーケンス・データのディスクへのセーブのフォーマットには2種類あります。01/Wシリーズ・フォーマットでのセーブでは、01/WF0で行えるシーケンサーの設定のほとんどと演奏データがセーブされます。また、そのデータを01/Wproや01/WproXでロードし演奏させることもできます(48,000ステップ)。

スタンダードMIDIファイルとしてセーブすると、シーケンサーの一部の設定と演奏データがセーブされます。そのデータはSTANDARD MIDIファイル未対応の01/WF0ではロードできませんが、スタンダードMIDIファイルに対応していれば他のメーカーの機種でもロードし、演奏できます。なお、どちらの方法でセーブするかは、ディスクのフォーマット時に決まります。

他機種やコンピューター・ソフト



※ 他の01/WF0とスタンダードMIDIファイルでシーケンス・データのやりとりを行うときは、あらかじめその01/WF0がスタンダードMIDIファイルに対応しているか確認してください。

※ 01/WF0で扱うスタンダードMIDIファイルのディスクは 720K のDOSフォーマットです。



⑳ 189ページ右欄の最初の項目を以下の文に変更

- 新たに購入したディスクにデータをセーブする場合には、最初に「フォーマット」という操作を行わなければなりません。また、他の機器で使用したりスタンダードMIDIファイルに使用した2DDのディスクに01/WFDのデータをセーブする場合にも、「フォーマット」の操作を行わなければなりません。詳しくは、P2-4フォーマットディスクをご覧ください。

㉑ 191ページ左欄の2番目の項目を以下の文に変更

- 新たに購入した生ディスクにデータをセーブする場合には、最初に「フォーマット」を行わなければなりません。また、他の機器で使用したりスタンダードMIDIファイルに使用した2DDのディスクに01/Wシリーズのデータをセーブする場合にも、「フォーマット」を行わなければなりません。  
フォーマットを行うと、そのディスク内のデータは全て消去されてしまいますので、大切なディスクにはプロテクトをかけるなどして充分ご注意ください。
- ① フォーマットするディスクをディスクドライブにセットします。
- ② FORMAT()を押すと表示が変わりますので、フォーマットを行なって良い時はYES()を押し、中止するときはNO()を押しします。

㉒ 191ページの最後に追加

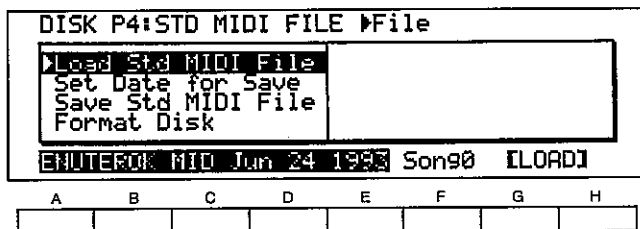
※ スタンダードMIDIファイル用ディスクのフォーマットはP4-4で行います。

スタンダードMIDIファイル

➤ Page-4 Standard MIDI File

メーカーや機種にとらわれずにフロッピー・ディスクでシーケンス・データのやりとりを行う「スタンダードMIDIファイル」のページです。

☞P4-1 Load Song Data(ロード・ソング・データ)



[A]			ロードするディスク内のファイルの指定
[E] Song		0~9	ロード先のソングの指定
[G]		[LOAD]	ロードの実行

▼スタンダードMIDIファイル形式で720KのDOSフォーマットの2DDディスクに入っているシーケンス・データをロードします。

- ①ロードするディスクをディスクドライブにセットします。
- ②ロードするファイル([A])を選びます。
- ③ロード先のソング([E])を選びます。
- ④[LOAD]([G])を押すと表示が変わりますので、ロードを行って良い時はYES([E])を押し、中止するときはNO([G])を押しします。

・「Now Loading」の表示が出ている間は、絶対にディスクを取り出さないでください。

※01/WF0で作製したシーケンス・データでも、スタンダードMIDIファイルでセーブされたものは、ロードの際、「Memory Full」と出ることがあります。これは、メモリーを節約するためにパターンを多用しても、セーブの際すべてオープン(展開)されてしまうためです。

※ディスクからロードされるのはソング・ネームと演奏データのみなので、各トラックの設定は別に行う必要があります。

# 8 DISK

8. DISKモード

## ☐P4-2 Date for Save(デート・フォー・セーブ)

DISK P4:STD MIDI FILE ▶Month							
Load Std MIDI File							
☒ Set Date for Save							
Save Std MIDI File							
Format Disk							
Sep 08 1991							
A	B	C	D	E	F	G	H

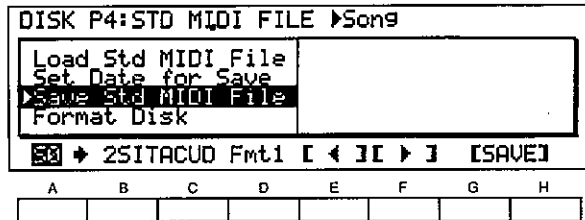
☐B	Month	Jan~Dec	日付けの「月」の設定
☐C	Day	01~31	日付けの「日」の設定
☐D	Year	1980~2079	日付けの「年」の設定

セーブするファイルに日付を付けます。

P4-1でロードをするとき、ここで付けた日付が☐Bに表示されます。

また、パソコンでディスクのディレクトリを見ると、ファイルごとにこの日付も表示されます。

## P4-3 Save Song Data(セーブ・ソング・データ)



[A]	S	Song	0~9	セーブするソングの指定
[D]	Fmt	File Format	0,1	セーブするときのファイルのフォーマットの設定
[E]			[◀]	セーブするファイルのリネーム・カーソルを左に移動
[F]			[▶]	セーブするファイルのリネーム・カーソルを右に移動
[G]			[SAVE]	セーブの実行

▼インターナル・メモリーのソングをスタンダードMIDIファイル形式でディスクにセーブします。

- ・セーブされるのはソング・ネームと演奏データです。
- ①セーブ先のディスクをライトプロテクトを解除してディスクドライブにセットします。
- ②セーブするソング([A])を指定します。ソングを選ぶたびにソングネーム10文字のはじめの8文字がファイル名として([B])に表示されます。ただし、ファイル名に使えない文字があるときは“\_”に変わります。そのため、ソング・ネームのはじめ8文字が同じだったり、記号が“\_”に変わったためにファイル名が同じになってしまうファイルがディスクにないかどうか注意してください。
- ③必要があれば([B])に表示されているファイル名を[◀]([E])、[▶]([F])とVALUEスライダ、△/▽キーを用いて変更します。英(大文字のみ)数字と記号(ソングネームには使えてもファイルネームには使えないものがあります)を合わせて8文字までの名前がつけられます。
- ※ここでネームを作っても([A])でソングを選び直すと、そのソングネームが変わってしまいますので注意してください。
- ④セーブするファイルのフォーマットを設定([D])します。このフォーマットはスタンダードMIDIファイルに定められているもので、ファイルごとにフォーマット0か1を設定します。

フォーマット0：1~16の全てのトラック・データを1つのトラックにまとめてセーブします。

フォーマット1：トラック別にセーブします。このデータをロードすると、データ制作時と同じトラックにデータが入ります。

フォーマット1でのセーブをするのが通常ですが、他機種でロードする際に不都合が生じることがあります(フォーマット1に対応していない、トラック数が足りないなど)。そういう場合はフォーマット0でセーブしてください。

⑤[SAVE]([G])を押すと表示が変わりますので、ディスクにセーブするときは[YES]([E])を押し、中止するときは[NO]([H])を押してください。

ディスク内にすでに同じネームのファイルがあるとFile Already Exist, Over Write ?と表示されます。[YES]、[NO]のどちらかを押してください。

・「Now Saving」の表示が出ている間は絶対にディスクを取り出さないでください。

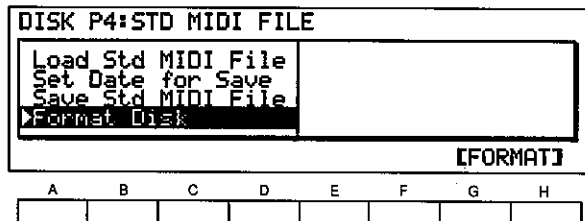
※ファイルの拡張子は.MIDとなります。例 KORG.MID

※パターンを使用している部分はオープン(展開)されてセーブされます。したがって、パターンを多用しているソングをセーブすると、ディスク内のメモリーを多量に使用し、それを01/Wro内に再びロードすると入りきらないことがあります。

# 8 DISK

## 8. DISKモード

### ☞P4-4 Format Disk(フォーマット・ディスク)



[G]	[FORMAT]	フォーマット・ディスクの実行
-----	----------	----------------

▼フロッピーディスク(3.5'2DD)をスタンダードMIDIファイル用のディスクとして初期化します。

●新たに購入した生ディスクにデータをセーブする場合には、最初に「フォーマット」を行わなければなりません。また、他の機器で使用したり01/Wシリーズの通常のファイルに使用した2DDのディスクにスタンダードMIDIファイルのデータをセーブする場合にも、「フォーマット」を行わなければなりません。

フォーマットを行うと、そのディスク内のデータは全て消去されてしまいますので、大切なディスクにはプロテクトをかけるなどして充分ご注意ください。

①フォーマットするディスクをディスクドライブにセットします。

②[FORMAT]([G])を押すと表示が変わりますので、フォーマットを行って良い時はYES([E])を押し、中止するときはNO([G])を押します。

●この時、あらかじめディスクについているライトプロテクトを解除しておいてください。

●フォーマットは約2分かかります。

●フォーマット中(「Now Formatting」が表示されている間)は、絶対にディスクを取り出さないでください。

●正しくフォーマットが行われると、「Completed」と表示されます。エラー・メッセージが表示された場合には、ディスクをディスクドライブにセットしなおしてもう一度フォーマットの操作を行ってください。(エラー・メッセージについては、P.211「エラー・メッセージ一覧」をご覧ください。)

※720KのDOSフォーマットにフォーマットされます。

※01/Wシリーズ用のディスクのフォーマットはP2-4で行います。

② 194ページ上欄を以下のように変更

1-3 SYSTEM REALTIME MESSAGES

Status	Description	
1111 1000	Timing Clock	#2
1111 1010	Start	#2
1111 1011	Continue	#2
1111 1100	Stop	#2
1111 1110	Active Sensing	

#2 : Transmits when In Sequencer Mode (Internal Clock)

1-4 UNIVERSAL SYSTEM EXCLUSIVE MESSAGES (DEVICE INQUIRY)

1111 0000 (F0)	Exclusive Status	
0111 1110 (F2)	Non Realtime Message	
0000 xxxx (0p)	XIDI GLOBAL CHANNEL ( DEVICE ID )	
0000 0110 (06)	INQUIRY MESSAGE	
0000 0010 (02)	IDENTITY REPLY	
0100 0010 (42)	XORG ID	( MANUFACTURERS ID )
0010 1011 (2B)	01/W Series ID	( FAMILY CODE (LSB))
0000 0000 (00)	( - - - (MSB))	
0000 0000 (0a)	( MEMBER CODE (LSB))	
0000 0000 (00)	( - - - (MSB))	
0000 xxxx (0x)	BOX No. 1~	( Minor Ver. (LSB))
0000 0000 (00)	( - - - (MSB))	
0000 xxxx (4x)	SOFT VER. 1~	( Major Ver. (LSB))
0000 0000 (00)	( - - - (MSB))	
1111 0111 (F7)	END OF EXCLUSIVE	

# - 3 : 01/W PRO I  
# - 4 : 01/W PRO

Transmits when INQUIRY MESSAGE REQUEST Received

#3 : #0 : 01/W FD  
#1 : 01/W (no FD)  
#2 : 01/W  
#3 : 01/W pro  
#4 : 01/W pro X

1-5 SYSTEM EXCLUSIVE MESSAGES

1st Byte = 1111 0000 (F0) :	Exclusive Status	} EL Header
2nd Byte = 0100 0010 (42) :	XORG ID	
3rd Byte = 0011 xxxx (0p) :	Format ID g:Global ch.	
4th Byte = 0010 1011 (2B) :	01/W Series ID	
5th Byte = 0fff ffff (ff) :	Function Code	
6th Byte = 0ddd dddd (dd) :	Date	
7th Byte = 0000 0000 (00) :		
LastByte = 1111 0111 (F7) :	End of Exclusive ----- END	

② 204ページを変更

PROGRAM PARAMETERS : PAGE/STAGE/POSITION TO OFFSET (TABLE 6)

STAGE	PARAMETER	POSITION							
		A	B	C	D	E	F	G	R
IN PROGRAM MODE									
PAGE 0		0	1	2	3	4	5	6	7
0	( FOR EFFECT DYNAMIC MOD )	( POSITION = 0 )							
5	( FOR PERFORMANCE EDIT )	OSC	WS	FC	PINT	LEV1	ATE	REL	EFF
IN EDIT PROGRAM MODE									
PAGE 0 : OSC		0	1	2	3	4	5	6	7
0	OSC MODE	10							
1	ASSIGN/HOLD	11							
2	OSC1 MULTISOUND	12	13	65			14	40	90
3	OSC2 MULTISOUND	15	16	116			17	91	141
4	OSCE	18							
5	PITCH EG	21	22	23	24	25	26	28	27
PAGE 1 : EMPHASIS/WAVE SHAPING		0	1	2	3	4	5	6	7
1	OSC1 EMPHASIS	87							
2	OSC2 EMPHASIS	138							
4	OSC1 WAVE SHAPING	82	88				83	84	85
5	OSC2 WAVE SHAPING	133	137				134	135	136
PAGE 2 : YDF1		0	1	2	3	4	5	6	7
0	CUT OFF	50							
1	KEYBOARD TRACKING	52				51		89	
2	EG INTENSITY	53							
3	EG TIME VELOCITY SENS	55				79		79	
4	EG TIME KEYBOARD TRACKING	54				78		78	
5	ENVELOPE	57	58	59	60	61	62	63	64
PAGE 3 : YDF 2		0	1	2	3	4	5	6	7
0	CUTOFF	101							
1	KEYBOARD TRACKING	103				102		140	
2	EG INTENSITY	104							
3	EG TIME VELOCITY SENS	106				130		130	
4	EG TIME KEYBOARD TRACKING	105				129		129	
5	ENVELOPE	108	109	110	111	112	113	114	115
PAGE 4 : VDA 1		0	1	2	3	4	5	6	7
1	VELOCITY SENSITIVITY	88							
2	KEYBOARD TRACKING	87				86		89	
3	EG TIME VELOCITY SENS	70				81		81	
4	EG TIME KEYBOARD TRACKING	69				80		80	
5	ENVELOPE	71	72	73	74	75	76	77	
PAGE 5 : VDA 2		0	1	2	3	4	5	6	7
1	VELOCITY SENSITIVITY	119							
2	KEYBOARD TRACKING	118				117		140	
3	EG TIME VELOCITY SENS	121				132		132	
4	EG TIME KEYBOARD TRACKING	120				131		131	
5	ENVELOPE	122	123	124	125	126	127	128	
PAGE 6 : PITCH MODULATION		0	1	2	3	4	5	6	7
0	PITCH BEND	37							
2	OSC1 PITCH MODULATION	40				42		45	
3	OSC1 PITCH MODULATION	46				49		48	
4	OSC2 PITCH MODULATION	91				83		96	
5	OSC2 PITCH MODULATION	97				100		98	

② 205ページを変更

PAGE 7 : VDF MODULATION		0	1	2	3	4	5	6	7
0	VDF SWEEP	38				34			
1	AFTER TOUCH TO VDA LEVEL	38							
3	VDF MODULATION	29			30		32	31	
4	VDF MODULATION	29					35	38	28
PAGE 8 : EFFECT		0	1	2	3	4	5	6	7
0	EFFECT1 TYPE	143				151	160		161
1	EFFECT1 PARAMETERS	152-159							
3	EFFECT2 TYPE	144				151	170		171
4	EFFECT2 PARAMETERS	162-169							
5	EFFECT PLACEMENT	151			149		150		

COMBINATION PARAMETERS PAGE/STAGE/POSITION TO OFFSET (TABLE 7)

STAGE	PARAMETER	POSITION							
		A	B	C	D	E	F	G	H

IN COMBINATION MODE

PAGE 0		0	1	2	3	4	5	6	7
0	( FOR EFFECT DYNAMIC MOD )	( POSITION = 0 )							
4	( FOR PERP.EDIT PROG NO. )	TIM1	TIM2	TIM3	TIM4	TIM5	TIM6	TIM7	TIM8
5	( FOR PERP.EDIT LEVEL )	TIM1	TIM2	TIM3	TIM4	TIM5	TIM6	TIM7	TIM8

IN EDIT COMBINATION MODE

PAGE 0 : TIMBRE		0	1	2	3	4	5	6	7
2	TIMBRE MODE	50	61	72	83	94	105	116	127
3	MIDI CHANNEL	50	61	72	83	94	105	116	127
4	PROGRAM	40	51	62	73	84	95	106	117
5	VOLUME	41	52	63	74	85	96	107	118
PAGE 1 : TIMBRE		0	1	2	3	4	5	6	7
3	KEY TRANSPOSE	42	53	64	75	86	97	108	119
4	DETUNE	43	54	65	76	87	98	109	120
5	PANPOT	44	55	66	77	88	99	110	121
PAGE 2 : WINDOW		0	1	2	3	4	5	6	7
2	VELOCITY WINDOW TOP	47	58	69	80	91	102	113	124
3	VELOCITY WINDOW BOTTOM	48	59	70	81	92	103	114	125
4	KEY WINDOW TOP	45	56	67	78	89	100	111	122
5	KEY WINDOW BOTTOM	46	57	68	79	90	101	112	123
PAGE 3 : MIDI FILTER		0	1	2	3	4	5	6	7
2	PROGRAM CHANGE FILTER	49	60	71	82	93	104	115	126
3	CONTROL CHANGE FILTER	49	60	71	82	93	104	115	126
4	DAMPER FILTER	49	60	71	82	93	104	115	126
5	AFTER TOUCH FILTER	49	60	71	82	93	104	115	126
PAGE 8 : EFFECT		0	1	2	3	4	5	6	7
0	EFFECT1 TYPE	11				19	28		29
1	EFFECT1 PARAMETERS	20-27							
3	EFFECT2 TYPE	12				19	38		39
4	EFFECT2 PARAMETERS	30-37							
5	EFFECT PLACEMENT	19			17		18		

DRUMKIT PARAMETERS (TABLE 8)

PPP	PARAMETER
0	INDEX NUMBER
1	INST NUMBER
2	KEY
3	TUNE
4	LEVEL
5	DECAY
6	PAN
7	EXCLUSIVE ASSIGN

② 207ページ「DISKモード(01/WFDのみ)」、Disk Type Errorのエラーの内容に以下の文に変更

01/Wシリーズ用ディスクでない。または、スタンダードMIDIファイル用ディスクでない。

**KORG**  
0408 CTH